

調査等事項報告（団体名：市政・公明クラブ）

視察先	千葉県流山市
視察日時	令和2年1月28日
視察項目	子育て世代に対する施策について
視察者	秋葉新一、高橋菜穂子、大山正弘、石澤祐一、海老名孝司、 矢萩浩次、細谷清隆、吉田 創、 田中正信、
視察内容	<p>“子育てにやさしい流山市” “母になるなら流山市”のキャッチフレーズに惹かれ、視察研修を実行しました。</p> <p>挨拶者：流山市議会 議長 青野 直氏 流山市子ども家庭部 部長 秋元 悟氏 説明者：流山市子ども家庭部 次長 熊井 彰氏</p> <p>1、流山市の概要 人口増加がすごいこと。 平成23年166千人から、令和元年191千人に増加。 特に、去年は4,500人の急増。その理由は ・都心のベッドタウンであること ・“子育てにやさしい流山市”、“母になるなら流山市”のキャッチフレーズが功を奏している。</p> <p>2、視察の結果 (1) 流山市の概要 ①「都心から一番近い森のまち」「どこへ行くのも近くて便利なまち」として、高く評価され定着している。 ②人口増加率は、6年連続千葉県内1位。 しかも、子育て世代、共働きの子育て世帯の定住が顕著である。</p>

女性の就業率は高く、合計特殊出生率は1.62

③流山市がこのように、開発された大きな理由は
2005年のつくばエクスプレスの開通により、南流山=秋葉原が20分と短縮され、首都圏へのアクセスが飛躍的にアップしたことによる。

(2) 子育て支援の概要

①すべての子供が、幸福に生きていく権利を有する かけがいのない存在であるという認識をもって、市、市民、事業者、学校が一体となって子育てをサポートしている。

②子育て環境の充実

特に、保育所等の整備、地域の子育て支援に重点的に取り組んでいる

- ・理念：「子どもの最善の利益が実現され、すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまち」を目指し「流山市子育てにやさしいまちづくり条例」を制定。また、「流山市子ども・子育て支援総合計画」を策定。

③保育園の状況（平成31、4）

就学前人口	13,350人
定員数	6,051人
待機児童数	42人
保育関連経費（H31予算額）	
整備費	11億3,100万円
運営費	74億1,000万円

④保育士の確保が課題

児童数の増加に伴い、保育士の確保に苦慮している。

そのため、次の施策を実施

- ・修学資金貸付制度・・・年間最大36万円
- ・宿舍借り上げ支援・・・家賃補助、月額最大82,000円
- ・潜在保育士研修
- ・就職奨励金・・・ 最大30万円（平成29年度より）

・特殊保育士処遇改善・・・43,000円(平成29年度より)

⑤「保育ステーション」の開設

子供を保育所(園)まで送迎する保護者の負担を軽減すべく、近くに「保育ステーション」を開設。そこからは、安心・安全のバスで結び登園・降園できるシステム。

これが、共働きの保護者から好評を博している。

⑥子どもの遊び場は、地域の自治会が管理している。

一方自治会は、レク大会や盆踊りに活用し、大人から子供まで共有している。

⑦ひとり親世帯に対し

- ・児童育成手当・・・4,000円(第2子以降18歳まで)
- ・遺児等手当・・・4,000～6,000円
- ・学習支援・・・35,650円(生活保護受給者・児童扶養手当受給者の中学3年生に対し学習塾の経費)

(注) いずれも月額

⑧「子育てが“孤育て”にならない」ように、子育て支援総合窓口を開設。ここでは、保育所の空き情報や子育て支援の施設を案内している(子育て支援コーディネーターが対応)

(3) 広報活動(子育て支援のPR)

「母になるなら流山市」をキャッチフレーズに、次の広報誌を発行している。これが、功を奏して人口の増に繋がっていると思われる。

- ・広報「ながれやま」(1頁)
- ・ママSTYLEながれやま(35頁)
- ・ながれやま子育てガイドブック(96頁)
- ・子育てガイドブック(37頁)
- ・MY GREEN NAGAREYAMA(22頁)

(4) 感想

日本全体が深刻な少子高齢化の中で、流山市は、“人口急増”という、まさに嬉しい悲鳴を上げている。

その中で、活力に溢れた諸施策を講じている。

特に、「母になるなら流山市」をキャッチフレーズに、強力な施策を講じていることに感銘した。

矢張り“まちおこし”には、ポイントを絞るとともに明快な施策を打ち出すことが肝要と痛感しました。

調査等事項報告（団体名：市政・公明クラブ）

視察先	総務省、国土交通省、衆議院議員会館
視察日時	令和2年1月29日（水）午前10時～11時40分まで
視察項目	市議会要望活動
視察者	秋葉 新一・大山 正弘・石澤 祐一・海老名幸司・高橋菜穂子 矢萩 浩次・田中 正信・細矢 清隆・吉田 創
内 容	<p>村山市議会要望事項に関連する省庁、及び県選出国會議員に対し、本市の雪対策や人口減少対策への取組みを説明し、地方交付税の確保及び新たな過疎対策法の制定について要望を行った。</p> <p>また、東北中央道の早期開通、最上川流域整備事業及び大旦川流域の総合的治水対策の推進を要望した。</p> <p>○県選出等国会議員 衆議院議員 鈴木憲和 氏 衆議院議員 遠藤利明 氏 衆議院議員 加藤鮎子 氏 衆議院議員 土井 亨 氏</p> <p>○省庁 総務省 大臣政務官 進藤金日子 氏 財務局長 内藤 尚志 氏 国土交通省 水管理・国土保全局長 五道 仁実 氏 道路局長 池田 豊人 氏</p>